

カウンセリングの効用

効用の判定

直接的効果

- ①症状の消失
- ②職場・家庭の人間関係の改善
- ③自信がもてるようになった
- ④生き方が楽になった
- ⑤こだわりが少なくなった
- ⑥積極的に自分の問題と向き合える

間接的効果

- ①不平不満の解消
- ②適正・能力の把握
- ③欠勤者の減少
- ④定着率の向上
- ⑤生産性の向上
- ⑥職場の活性化
- ⑦企業への信頼感、安心感

カウンセラーから見た効果

- ①問題の解決
- ②態度・表情等の変化
- ③行動・仕事等の変化
- ④考え方の変化

クライアントから見た効果

- ①本人自身のよくなったという認知
- ②心身症状の改善
- ③葛藤の解消
- ④自信の回復
- ⑤目標の明確化